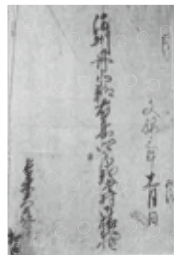


# 我堂の歴史と遠見地蔵の信仰

西田 孝司 (松原市文化財保護審議会)

松原 歴

史  
ウ  
オ  
ー  
ク



▲善正寺(右)と我堂八幡宮(左) 善正寺は「天見山」と号し、東本願寺を本山とする。八幡宮は品陀別命(応神天皇)を祭神とする。明治時代以前は十五社明神と呼んで、天照大神や八幡神など15神を祀っていた。

▲歳の上地蔵(天美我堂7丁目) 舟形石仏だが、阿弥陀如来である。

▲文禄3年の検地帳 左下に検地奉行の長束正家の名が見える。

▲遠見地蔵(市境、左：堺市北区南花田町) 右の道路が天美我堂2丁目の長尾街道。東から。手前が小字「大和街道」。北側が小字「遠見」。地蔵尊は肉厚の半跏像で、岩座に腰掛ける。

## 布忍郷から天美村我堂への変遷 我堂の小字「遠見」名の地蔵尊

本市西南に天美我堂の街並みが広がっています。すぐ西には、大阪メトロ御堂筋線の北花田駅があり、堺市北区と接しています。また、南端も長尾街道をはさんで、北区南花田町と境界を画しています。

江戸時代、我堂地域は真宗大谷派の善正寺東側の水路で丹北郡東我堂村と西我堂村に分かれていました。しかし、それ以前の文禄三年(一五九四)十一月、豊臣秀吉が作成させた検地帳(太閤検地)では分村していません。それが、まもなく慶長三年(一五九八)の「田畑屋敷仕訳帳」には、東西我堂村と二村になっています。

近代に入り、明治八年(一八七五)には、東西我堂村が再び合併して、丹北郡我堂村となりました。明治二十二年(一八八九)からは同郡(明治二十九年以後は中河内郡)天美村(昭和二十一年からは天美町)の大字となったのです。その後、昭和三十年(一九五五)の松原市発足とともに、我堂町となり、昭和四十四年(一九六九)の住居表示の再編とともに、現在の天美我堂の町名が定着しました。

このように、今では、我堂は天美地域として認識されています。ところが、文禄三年の検地帳には、「河州丹北郡布忍郷之内我堂村御検地帳」と表紙にあります。市域には、文禄三年検地帳が城連寺村・更池村・東田井村(東代村)・堀村・河合村・

岡村・三宅村・別所村にも残っています。

更池村・東田井村・堀村の表紙にも、「布忍郷(之)内」とあります。旧布忍村の更池・東代や、現在では天美南となる堀と共に、我堂も秀吉時代には布忍地域に含まれていたのです。享和二年(一八〇二)の「狭山藩領村方明細帳」でも、「布忍郷」とあります。

ただ、更池・東代・堀村は、同じく布忍村を形成する高木・向井・清水村と共に牛頭天王社(布忍神社)を氏神とするのに対し、我堂では、十五社明神(我堂八幡宮)を氏神としていました。

また、天美地域の城連寺・池内・油上・芝村でも、各村の氏神が阿麻美許曾神社であることから、我堂村の独自性がうかがわれます。その上、村墓地も布忍村や天美村ではなく、西隣の摂津国の五箇荘村(堺市北区北花田町)につくられた阿坂墓地に葬られています。

さて、江戸時代中頃の東西我堂村明細帳によると、両村とも家数は約五〇軒、人口はそれぞれ約二七〇人を数えました。牛も、両村とも八〜九疋が飼われていたと記されています。領主は初め幕府領でしたが、まもなく、旗本の小出氏に移りました。その後、再び幕府領となり、江戸中期ごろからは北条氏の狭山藩領となり、幕末に至ったのです。

ところで、我堂の南端は古道の長尾街道に接しています。ただ、この街道名が定着するのは明治時代以降のようです。江戸時代には、堺と大和(奈良県)を結んでいたのが、堺街道とか大和街

道と呼ばれることが常でした。

我堂村では、現在の天美我堂二丁目の街道沿い北側に「大和街道」の小字名が見られ、その西北に接して「遠見」の小字名が見られます。遠見とは、ここから堺の町や港が遠くに見渡せたことから付けられたと言われています。この村境の街道南側沿い、河内国八上郡南花田村(のち北八下村)、今は北区南花田町に位置しますが、遠見地蔵が祀られています。南花田にお勧めされる本市丹南・来迎寺(融通念仏宗)と同日の源光寺(浄土真宗本願寺派)の檀信徒の講がお世話されています。

日頃、地蔵堂は施錠されていますが、堂内には左足を下げた半跏像で、右手に錫杖、左手に宝珠をかかえた花崗岩製の地蔵が見られます。台座は岩座になっており、台右には延享三年(一七四六)丙寅八月十一日の銘があり、弘法大師空海がつくつたと刻されています。平安時代の弘法大師作は伝承の表れですが、人々の高僧にこめた願望が読み取れます。

堂横には、天保六年(一八三五)乙未八月に堺の住民が奉納した手水石があります。また、堂前にも、年月日が磨滅していますが、嘉永年間(一八四八〜五三)に堺の菊寿講が奉納し、南花田の弥三郎が世話をした「遠見地蔵尊」と刻まれた香華台が祀られています。手水石と共に「左海」の文字が使われています。

我堂には、善正寺門前に嘉永元年建立の「歳の上地蔵尊」なども祀られています。我堂の小字名「遠見」を冠した遠見地蔵も地域の垣根をこえて信仰されています。